

まつしま

議会だより

第159号

令和6年8月1日発行
宮城県松島町議会



「町民ふれあいスポーツ大会準優勝（磯崎分館）」

- ◇ 議案審議…………… P 2
- ◇ 8人の議員が熱弁（一般質問）…………… P 8
- ◇ 町民の声…………… P20

令和6年
第2回定例会

[6月6日～6月10日]

議案 審議

工事請負契約を締結

(都)根廻・初原線国道346号交差点改良工事

議案審議

令和5年度松島町水道事業会計
予算繰越計算書について(報告)

質疑

赤間幸夫議員 水道施設整備基
本計画策定業務について、既存
水道施設の資料収集並びに現状
把握、分析に時間を要したとあ
るが詳細は。

水道事業所長 全ての施設で危
害評価と危害管理を行い、安全
な水の供給を確実にする水安全
計画を立てた。また、町内全域
の優先される施設整備と整備手
法について検討を行ったが、優
先される整備施設の既存の図面
が古く、現地を照らし合わせな
がら行ったため、時間を要した。

松島町町税条例の一部改正につ
いて(専決処分)

質疑

小澤陽子議員 給与所得に係る
特別徴収について、定額減税と
なっているが町民に対する減税
か。

財務課長 令和6年1月1日賦
課期日現在、松島町民として住
んでいる方を対象に減税となる。

今野章議員 定額減税について、
前年の所得により通常の申請で
は受けられない、または対象外
など様々なケースがあるが、町
はどの様に把握しているか。

財務課長 個々のケースについ
ての試算は非常に複雑だが、賦
課期日の所得により、今後給付
金が受けられる形になっており、
減税等の恩恵を全く受けない方
は少ないのではないかと。

賛成全員・可決

松島町国民健康保険条例の一
部改正について(専決処分)

質疑

今野章議員 限度額の引き上げ
が本場に必要なのか。

町民福祉課長 限度額について
は国のルールに基づき改正を行
う。一方で、今回税額を5,00
0円減額し全体的に負担を減ら
す方策も実施している。

討論

反対討論

今野章議員

町民の暮らしを守る立場で、
一般会計からの繰入れや、国県
に対し国保への公的負担や支援
を強く求めていただきたい事を
申し上げ、反対の討論とする。

賛成討論

米川修司議員

国民健康保険税の対象世帯に
ついては、軽減該当世帯数がさ
らに6件増加ということで、町
民の経済状況を少なからず配慮
して見直しに至ったと評価して、
賛成の討論とする。

賛成多数・可決

松島町家庭的保育事業等の設備
及び運営に関する基準を定める
条例の一部改正について

質疑

桜井ていこ議員 児童館及び留
守家庭児童学級の状況は。

町民福祉課長 基準以上の職員
配置となっている。

賛成全員・可決



宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

質疑

赤間幸夫議員 令和6年12月以降は現行の保険証が発行されなくなるが、マイナ保険証を持っていない町民に対して町はどのように対応するのか。

町民福祉課長 有効期限が1年間の資格確認書を発行する。

今野章議員 現行の保険証は令和7年7月まで使用できるが、資格確認書の様式はどのようなものか。

町民福祉課長 記載事項は現行とほぼ同様と認識している。

※この他に阿部幸夫議員が質疑を行いました。

討論

反対討論 今野章議員
現行の保険証を廃止して資格確認書を交付することは、マイナンバーカードの発行を事実上強制するものである。

現行の保険証を継続して交付すれば新たな負担や問題は生じず、拙速に廃止すべきではない。

賛成討論

米川修司議員
資格確認書の交付が経過措置であるかぎり、マイナンバーカードの発行はあくまで任意のままである。

たしかに期間限定で新たな費用が発生するが、国のDXを飛躍的に進めるために検討を重ねた上で決められた対応である。
賛成多数・可決

工事請負契約の締結について
【(都)根廻・初原線国道346号交差点改良工事】

質疑

後藤良郎議員 初原側の工事進捗が遅く感じるが、松島イノベーションヒルズの完成時期は。

建設課長 令和8年4月の稼働開始に合わせて、根廻側の道路工事は完了する見込みであるが、初原側は松島大郷IC付近のランプ工事との調整が必要であることから、令和9年度より着工となる見通しである。

高橋幸彦議員 当該道路の排水に関しては問題ないのか。

建設課長 今回は調整機能がないため、下流側に影響が出ないよう、管渠断面や水路新設等を含めて雨水の流出調整を図る。

阿部幸夫議員 今回の工事は片側交互通行となるのか。

建設課長 まず雨水関連の工事から短い区間で始めて、その後道路工事に着手して、片側交互通行になる期間がなるべく短くなるよう配慮していく。

赤間幸夫議員 交通安全対策として信号機を設置する予定は。

建設課長 事前準備の段階で公安委員会等と協議しているが、まだ予測しづらい部分があるため今後も継続して協議する。

菅野隆二議員 条件付一般競争入札においては最低制限価格を見直してもよいのでは。

建設課長 応札する業者は本町で作成する工事見積金額とほぼ変わらない見積りが可能であるところ、失格者は純工事費や管理費等を低く見積もっていた。

賛成全員・可決

報告 令和6年度へ繰り越した事業

1. 各会計ごとの繰越明許費

事業名	翌年度繰越額	完了した月()は見込み
一般会計		
戸籍情報システム等振り仮名追加対応改修事業	1,116万9千円	(令和7年3月)
コンビニ交付システム振り仮名追加対応改修事業	188万1千円	(令和7年3月)
物価高騰対応重点支援給付金事業(第二号)	4,050万6千円	(令和6年6月)
低所得者の子育て世帯への加算給付金事業	419万円	(令和6年6月)
新型コロナウイルスワクチン接種対策事業	20万円	(令和6年9月)
(都)根廻・初原線道路整備事業	111,882万円	(令和7年3月)
水道事業会計		
水道施設整備基本計画策定業務委託	1,342万円	(令和6年6月)
下水道事業会計		
松島町公共下水道ストックマネジメント計画策定業務委託	1,474万4千円	(令和6年12月)
初原地区下水道整備工事	3,467万7千円	(令和6年11月)

2. 事故繰越し

一般会計		
(都)根廻・初原線道路整備事業	6,000万円	(令和7年3月)

上竹谷地区に避難所を整備

補正予算

令和6年度松島町一般会計補正予算(第1号)

一般会計補正額

- 2億7,484万円
- 定額減税補足給付金事業 7,458万円
- 物価高騰対応重点支援給付金事業(第三号) 4,126万円
- 児童手当支給事業 6,257万円
- 低所得者の子育て世帯への加算給付金事業 306万円
- 予防接種事業(新型コロナウイルスワクチン定期接種分) 3,300万円
- 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定事業 519万円
- 災害廃棄物処理計画策定事業 597万円
- 上竹谷地区避難所整備事業 4,020万円

補正予算

質疑

米川修司議員 定額減税補足給付金事業についての所得税分の対象者数見込みの試算方法は。

財務課長 令和6年度、令和5年度分の個人住民税課税情報から抽出したデータを国が提供するモデル推計式に組み込み、その推計式から求められた数値を調整給付のための算定ツールに取り込んで見込み人数を算出した。

赤間幸夫議員 コロナワクチン定期接種対象者の接種率を50%に算出した根拠は。

健康長寿課長 令和5年度秋接種時の65歳以上の接種率が56%であった。定期接種化に伴い自己負担が発生する、集団接種ではなくなったことから接種率が下がると見込んで算出した。

櫻井靖議員 今まで無料だったものが有料化となり、費用が発生する形になったが、対象者以外の方が接種を希望した場合の金額は。

健康長寿課長 対象者以外は任意接種の扱いで全額1万5,300円が自己負担となる。来年度以降は対象者への助成も含めまして大いに変わる可能性があるかと国から聞いている。

菅野隆二議員 地球温暖化対策実行計画と災害廃棄物処理計画の策定に対してのそれぞれ500万円から600万円の予算は適正価格なのか。

総務課長 国土交通省から示されている設計業務等の単価から算出した適正価格である。内訳的には人件費が多くを占めている。

赤間幸夫議員 上竹谷地区に整備する避難所の想定規模が200mに対して、収容想定人数が80名規模となっている根拠と委託料が1,900万円と高額な理由は。

危機管理監 建築設計のほか用地測量と補償算定も含まれていること、国土交通省の基準が引き上げられたことでのような積算結果となった。発注の際には改めて精査をして事業を進めていく。

櫻井靖議員 上竹谷地区に新たな避難所が整備されたあの上竹谷生活センターはどのような形になるのか。

総務課長 令和4年3月に策定した個別計画では現状維持となっているが、整備後は廃止の方向で協議していきたい。

※この他に桜井ていこ議員が質疑を行いました。
賛成全員・可決



陳情第1号

現行の健康保険証の存続を求める意見書提出のための陳情について

本件は令和6年松島町議会第1回定例会本会議で教育民生常任委員会へ付託された。同委員会では陳情者へ参考人としての出席を求め、陳情の趣旨及び内容について説明を受け、それに対する質疑を行った。

○陳情の要旨

令和6年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナ保険証に一本化するとの方針について、廃止を行わず、より慎重に検討を進め、誰一人取り残されることなく、国民皆保険の下、安心して医療を受けられるために国に対して意見書の提出を求めるものである。

討論

賛成討論

今野章議員

現行の健康保険証の廃止をせず存続を求める意見書を国等に提出することに全く問題はない。いつでもどこでも誰もが安心して医療を受けられる国民皆保険制度を堅持するために、現行の保険証の廃止を拙速に行わず、慎重な議論や検討を重ねて進めるべきと考え賛成とする。

反対討論

米川修司議員

マイナ保険証は医療サービスの効率化と利便性の向上を目指す重要な取組である。今後、誰一人取り残されることのないよう国民に対する配慮を継続しながら、世界に遅れを取っているとされる医療DXを進展させるべく、マイナ保険証がその基盤にきちんと据えられることを願って反対する。

賛成少数・不採択



人事案件

松島町教育委員会教育長：…同意

《再任》

内海 俊行氏
(松島町高城)

松島町固定資産評価審査委員会委員
…同意

《再任》

安部 新也氏
(松島町手樽)

山口 孝雄氏
(松島町磯崎)

松島町入札監視委員会委員
…適任と答申

《再任》

赤石 雅英氏
(塩竈市小松崎)

武田 三弘氏
(利府町加瀬)

熊谷 哲氏
(松島町磯崎)

《新任》

魚橋 慶子氏
(多賀城市城南)

松浦 健太郎氏
(石巻市泉町)

松島町選挙管理委員及び補充員の選挙
…当選委員

《再任》

上野 和泰氏
(松島町松島)

青木 浩二氏
(松島町高城)

大山 憲一氏
(松島町磯崎)

《新任》

秋保 きみよ氏
(松島町竹谷)

補充員

《再任》

菅原 嘉代子氏
(松島町磯崎)

《新任》
大宮司 寛氏
(松島町松島)

新野 のり子氏
(松島町松島)

佐々木 秀一氏
(松島町初原)

令和6年 第2回 定例会 提出議案 (6月議会)

陳情第1号 現行の健康保険証の存続を求める意見書提出のための陳情について

報告第1号 令和5年度松島町一般会計繰越明許費繰越計算書
戸籍情報システム等振り仮名追加対応改修事業他5件

報告第2号 令和5年度松島町一般会計事故繰越し繰越計算書
(都)根廻・初原線道路整備事業

報告第3号 令和5年度松島町水道事業会計予算繰越計算書
水道施設整備基本計画策定業務委託

報告第4号 令和5年度松島町下水道事業会計予算繰越計算書
初原地区下水道整備工事他1件

報告第5号 和解及び損害賠償の額の専決処分の報告について
公用車による接触事故に対する和解及び損害賠償
和解及び損害賠償額 111,639円

議案第30号 松島町町税条例の一部改正
個人町民税の「令和6年能登半島地震災害」に伴う雑損控除等の改正

議案第31号 松島町都市計画税条例の一部改正
地方税法改正に伴う条項ずれ等の改正

議案第32号 松島町国民健康保険税条例の一部改正
後期高齢者支援金等課税に係る課税限度額の改正

議案第33号 松島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
小規模保育事業所等における職員の配置基準を見直す改正

議案第34号 宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
現行の被保険者証が発行されなくなることに伴う規約変更についての協議

議案第35号 工事請負契約の締結について
工事名 (都)根廻・初原線国道346号交差点改良工事
契約金額 136,950,000円
契約の相手方 (株)和建設

議案第36号 令和6年度松島町一般会計補正予算(第1号)
定額減税補足給付金事業、児童手当支給事業、予防接種事業に係る補正等

議案第37号 令和6年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
マイナンバーカードと健康保険証の一本化に向けたシステム改修費に係る補正等

議案第38号 令和6年度松島町介護保険特別会計補正予算(第1号)
職員の人事異動による補正等

議案第39号 令和6年度松島町水道事業会計補正予算(第1号)
職員の人事異動による補正

議案第40号 令和6年度松島町下水道事業会計補正予算(第1号)
職員の人事異動による補正

議案第41号 松島町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて
5ページ参照

議案第42号・43号 松島町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
5ページ参照

諮問第1号～5号 松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて
5ページ参照

松島町選挙管理委員及び補充員の選挙
5ページ参照

議案採決結果表

- 表の見方**
- ①採決結果 : 賛成全員(可決または採択) → 全
 賛成多数(可決または採択) → 多
 賛成少数(否決または不採択) → 否
 - ②各議員の表決 : 賛成 → ○ 反対 → ×
 - ③その他 : 欠席 → 欠 退席(除斥を含む) → 退 議長 → 議

令和6年第2回定例会

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	菅野隆二	米川修司	櫻井靖	桜井ていこ	中島一都	後藤良郎	赤間幸夫	高橋幸彦	阿部幸夫	今野章	小澤陽子	片山正弘	高橋利典	色川晴夫	賛成	反対	
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○
陳情第1号	現行の健康保険証の存続を求める意見書提出のための陳情について	6月6日	否	×	×	×	○	×	×	○	×	○	○	×	×	×	議	4	9	
議案第30号	専決処分の承認を求めることについて(松島町町税条例の一部改正)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第31号	専決処分の承認を求めることについて(松島町都市計画税条例の一部改正)		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第32号	専決処分の承認を求めることについて(松島町国民健康保険税条例の一部改正)		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	12	1
議案第41号	松島町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて		同意															議		
議案第42号	松島町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		同意															議		
議案第43号	松島町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		同意															議		
諮問第1号	松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて		適任															議		
諮問第2号	松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて		適任															議		
諮問第3号	松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて		適任															議		
諮問第4号	松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて		適任															議		
諮問第5号	松島町入札監視委員会委員の選任につき意見を求めることについて		適任															議		
議案第33号	松島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13
議案第34号	宮城県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	多	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	11	2	
議案第35号	工事請負契約の締結について【(都)根廻・初原線国道346号交差点改良工事】	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第36号	令和6年度松島町一般会計補正予算(第1号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第37号	令和6年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	12	1	
議案第38号	令和6年度松島町介護保険特別会計補正予算(第1号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第39号	令和6年度松島町水道事業会計補正予算(第1号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第40号	令和6年度松島町下水道事業会計補正予算(第1号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0

採決表

町政Q&A

一般質問 ここが聞きたい！

8人の議員が

12件について質問

米川 修司 議員 (9ページ)

◆ 「子ども国際観光科」と「松島こども英語ガイド」の今後の展望について

桜井 ていこ 議員 (10ページ)

◆ 鉄道に関わる町の安全対策について
◆ 水害対策について

小澤 陽子 議員 (11ページ)

◆ 食に関する危機管理体制について
◆ 食の多様性について

中島 一都 議員 (12ページ)

◆ 松島町の観光振興について

桜井 靖 議員 (13ページ)

◆ スーパーマーケットの誘致はできないか
◆ 男性対象の家事教室はできないか

菅野 隆二 議員 (14ページ)

◆ 人口減少を前提にしながら行政サービスを維持するために
◆ 物価高騰で大きな影響を受けた町民への支援について

今野 章 議員 (15ページ)

◆ 宿泊税について

赤間 幸夫 議員 (16ページ)

◆ 防災と町道について

※一般質問とは

議員が町長などの執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求めること



よね かわ しゅう じ
米川修司 議員

問 「子ども国際観光科」と「松島こども英語ガイド」の今後の展望は

答 「子ども国際観光科連絡協議会」を立ち上げて英語ガイドを各学年で実施できるよう取り組む

問 子ども国際観光科が開始して3年目に入るが、具体的にどのような成果があがっているか。

教育長 松島の歴史や名勝、文化等について理解を深めながら、英語によるグループ発表や、外国人観光客に対するインタビューなど、より実践的な学習を行うことにより、英語の勉強活動が好き、あるいは楽しいと思う児童の割合が約10%増加している。

問 子ども国際観光科における学習計画の期間は10年となっているが、松島こども英語ガイドの位置付けを含め、計画の見直しをどのように進めていくか。

教育長 教科書や学習指導要領の改訂に合わせて、児童の意識調査をもとに学校と協議を重ねながら、学習計画の見直しに反映していく。なお、現在の松島こども英語ガイドは15人の定員で、かつ期間限定の学習となっているが、時期を見据えながら、児童全員を対象に、年間カリキュラムとして学習することも現在検討中である。



問 町内外を問わず、海外からの外国人労働者や留学生もいることから、「やさしい日本語」を次年度以降の学習計画に取り入れる考えはないか。

教育長 正しい日本語を習得することにより、日本語を適切に使い分ける力が自然と身に付くものであるから、まずは子どもが正しい日本語をしっかりと身に付けることに重点をおいて指導していく。

問 松島こども英語ガイドにより制作された動画が令和3年度より公開され好評であるが、以前のように外国人観光客を対面で案内する事業を再開するのが望ましいのではないか。

教育長 コロナ禍以前のように外国人観光客を対面で案内することで、より実践的な学習が可能となることから、来年度以降は可能な限り以前の学習内容を踏まえながら事業計画を検討していく。

問 将来的には子どもたちが決まった場所待機して、観光客に自ら声を掛けて、そのスポットを案内する定点ガイド活動を目標に、町の所管間で連携しながら子どもによる英語ガイド事業に取り組んでみてはどうか。

教育長 子どもが待機する場所の確保、他科目との学習時間の調整、子どもがガイドを実施する際の引率者の確保、防犯面の多岐にわたる調整が見込まれることから、事業が可能か否かも含めて慎重に検討していく。



観瀾亭で動画の撮影をする子どもたち



さくらい 桜井ていこ 議員

問 鉄道に関わる町の安全対策について

答 東日本旅客鉄道本社に今後も要望していく

問 4年前葉山神社付近で女性が、東北本線を横断する死亡事故があった。町民が線路を横断する事実を町は認識しているか。また、このような状態がなぜ続いてきたのか。

教育課長 年度初め、長期休暇前に文書で、踏切を含めた危険な箇所に対する注意喚起を行い、また昨年度からJR東日本の協力で踏切事故防止教室を開催している。

問 4月、群馬県高崎市で、小学生が犬の散歩の途中に電車にはねられ死亡する痛ましい事故があった。町内にある踏切の安全対策や児童や生徒が安全に踏切を横断するための注意喚起等を実施しているのか。

町長 事実は確認している。鉄道法と道路法で、鉄道と道路は、平面交差はしてはならない。湯の原からの道路を整備し、松島区のご努力もあり、今の形になり、町として、注意喚起するしかない。

建設課長 事故を受けて、安全対策を松島区とJR東日本と協議の結果、存続してほしい意見を踏まえ、進入禁止の看板を設置、通過する電車は全て警笛を鳴らすルールになっている。

問 松島駅のバリアフリー化・新小梨屋歩道橋の補修計画の進捗状況は。また、愛宕駅のホーム柵の目隠しなど改修が必要ではないか。

副町長 松島駅のエレベーターの問題・愛宕駅の改修についてJR東日本に要望をしていく。

建設課長 歩道橋補修は、駅構内のためJR東日本の協力が不可欠で協議を進めていく。

問 梅雨を迎えるが水害から住民を守る防災・減災の取り組みについて

答 吉田川水系流域市町村ですすめている

問 2年前の大雨被害の復旧工事の進捗状況について。

町長 土木施設、のり面の崩落、農業用施設、下水道施設の災害復旧工事はすべて終了している。

問 明神コミセンの床上浸水による床等の床材の汚変色などの改修は。

副町長 消防・コミュニティ施設なので、今後検討していく。

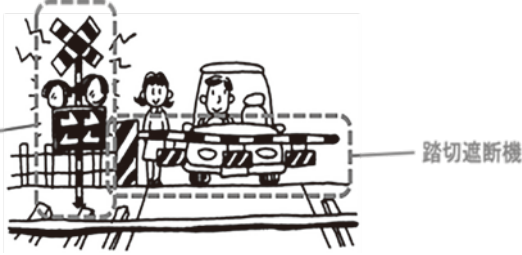
問 気象変動に対応した水害対策・流域治水の取り組みについては。

町長 吉田川水系流域水害対策計画を国・県・流域市町村で進めている。

問 水田の持つ貯水機能を強化して、田んぼダムや雨水タンクの設置推奨する取組の考えは。

産業観光課長 田んぼダムの流量の調整効果も報告されており、今後検討していく。

副町長 雨水タンクについて、推奨していない。



第1種踏切 (国土交通省運輸安全委員会)



家庭用雨水タンク



おざわ ようこ 議員
小澤陽子

問 食に関する危機管理体制について

答 町として教育委員会と協力してしっかりと対応する

問 本年4月25日、県内の小中学校の給食の牛乳により、およそ1,000人から体調不良を訴える報告があった。我が町での経過と危機管理の対応は。

教育次長 当町は、翌26日今回の状況を把握、調査し体調不良者が無いことを塩釜保健所に報告した。同日保護者宛に状況説明の文章を配布。

その後、仙台市保健所の検査の状況や、東北森永乳業からの説明や宮城県教育委員会から再開の検討するよう通知があり、関係機関と協議を行い再開。現在牛乳の提供再開により飲みたくない、飲ませたくないという申出は受けていない。

危機管理体制については、事案の発生から県教育委員会・県食とくらしの安全推進課・塩釜保健所等から指導を受け、各小中学校・幼稚園ともに検査体制の強化をしている。

問 今回原因が分からず、牛乳の提供再開を心配している母親達がいるが、町長の考えは。

町長 町として教育委員会と一緒に安全対策を実施する。

問 食の多様性について

答 真摯に相談に対応する

問 近年、様々なアレルギーを持つ児童生徒が増えている。今後も牛乳が提供される場合、選択によりお茶などが選べるような対応をすることが大切であると思われるが、町当局の考えは。

教育次長 本町では、今後も、牛乳を提供していくため、お茶などの選択については考えていない。

問 アレルギーマスクを持つ児童生徒に対し、診断書の簡易化や牛乳の代替への対応など、親切・丁寧な対応を求めたいが町長の考えは。

町長 教育委員会とよく協議して、今後進めていく。

問 給食に対する要望について、親身になって相談できる場所か担当があるかと思うがどうか。

教育次長 教育委員会のほうでも真摯に受け答えできるのではないかと思うので、ぜひ、何かあれば相談に対応する。



テーマ『東北六県&世界の汁物・煮物味めぐり』
リンゼンズッペ (ドイツ)
(R5 年度1月メニュー)



地場産品活用メニュー (R5 年11月メニュー)

一般質問



なか じま かず と 議員
中 島 一 都

問 生産者に対し「観光農園」を積極的に働きかけしてみてもどうか

答 今後、県などと連携しながら生産者の相談に対応していく

町長 教育旅行の宿泊数は令和元年と令和5年を比較し倍以上の生徒が本町の宿泊施設を利用してきている。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、従来の目的地へ戻る傾向はあるが、都市と地方のまちづくりをテーマとした探究学習や同世代の交流を目的としている学校は引き続き本町へのニーズがあると考ええる。

問 教育旅行の入込み数について、コロナ前とコロナ禍の変化、今後の見込みは。

問 本町では教育旅行の積極的な受入れと示しているが、具体的な施策内容と誘致の手段は。

町長 観光協会等と一緒にエージェントを回ったり、昨年来ていただいた学校へ直接電話をしたり努力している。

また、今年の本町の宿泊施設に3連泊した学校があり、町も相談を受け様々なコンテンツを実施した。引き続き次年度に繋げていけるよう努力したい。

問 地産地消による松島の味づくり推進について具体的な施策内容と、どのように観光へ結びつけているのか。

町長 松島町地産地消費実行委員会を設置し「まつ市の市」等で定期的に地場産品を販売し、生産者と消費者の交流を図りながら松島の味づくりに寄与している。また、ホテル・旅館及び飲食店へ食材の提供により観光客にも松島の味を提供している。今後も様々な食材を生かして観光に結びつけていきたい。

問 農作物の収穫体験や収穫した食材を使い料理を楽しむ事ができる「観光農園」が有効なコンテンツの1つと考えるが、生産者に対し積極的な働きかけをしてみてもどうか。

産業観光課長 観光農園は第6次産業として注目されており、作物の出荷以外でも農業者の所得や観光客の増加に寄与しているものと承知している。本町でも、地域の活性化や観光客の集客に繋がる

ものと考えており、今後県などと連携し、生産者からの相談に対応したいと考えている。

問 インバウンドの受入れ体制について、既存の課題と今後の施策は。

産業観光課長 インバウンドについては本町で消費する金額をどれだけ伸ばせるかが課題である。県や各組織・市町村と広域な誘客事業が必要と考えている。



教育旅行の様子



松島トマトもぎとり体験の様子



さくら い やすし
櫻井 靖 議員

問 スーパーマーケットの誘致はできないか

答 引き続き誘致活動をしていく

問 町として複数のスーパーマーケットの必要性についてどのように考えているのか。
また、現在スーパーマーケットの誘致を行っているか。

町長 町民が豊かな生活を営む上で、スーパーマーケットの選択肢が増えることは重要であると考えている。

スーパーマーケットの誘致については、これまで企業訪問などを行い誘致しているが、実現に至っていないのが現状だ。引き続き私も担当課と一緒に足しげく通って誘致活動をやっていきたい。

問 水道事業所近くの土地が市街化区域に編入され、スーパーマーケットが建設されるのではと期待する声は強かったが、スーパーマーケットの建設は見送りとなった。その後のその土地の動向は。また、その土地の税金が上がったわけだが、地主への対応は。

町長 今でもその土地については今後の利用について何とかしたいと担当と営業をしている。

また、その周辺のこれらの土地利用については、町が出向いて地域の方々にしつかり説明会を開催しており、その時に、「このように土地が変わると、税についてもこのようになる」と説明をしている。



問 男性対象の家事教室はできないか

答 アンケートなどにより可否を判断していく

問 家事は料理だけではない。洗濯・掃除・裁縫・アイロンがけなど、多岐にわたる。そういった一つ一つのことを学べるような生涯学習の教室を開けないか。

問 男性が家事を教えるもらうという目標を持って集える機会をつくることで、仲間づくり・孤独の解消にもつながると考えるがどうか。

教育課長 洗濯・掃除・裁縫・アイロンがけなどの家事を学び直しの一環として、教室を開催している自治体もあるが、本町では料理以外で家事に関するご意見・要望がなかったため現段階で開催する考えはない。

健康長寿課長 男性が集える機会を創出したり、仲間づくりを行って孤独を解消するためには、家事に限らず各種サークルなどを積極的に活用してもらうことは、大変有効だと考えている。

ただ、今後アンケートなどにより、住民のニーズ等を調査し、生涯学習としての教室の可否を判断していく。

生きがいやつながりを推進することは、町の目標なので、これまで以上に、性別や年齢に関係なく参加しやすいような事業の周知や、情報発信などに努めていきたい。





議員 二 隆 野 菅

問 町が自治体として自ら稼ぐことが必要ではないか

答 財源の確保に努める

問 少子高齢化による税収減からの行政サービスの低下を防ぐためにも町が自治体として自ら稼ぐことが必要ではないか。

町長 安定的な財政運営には、自主財源の確保は欠かせないものであり、引き続き企業誘致・移住定住促進・ふるさと納税の返礼品の拡充・町有財産の整理を推進しながら公共施設の使用料の検討も進めていく。

問 基礎人口による交付税以外を獲得するために国等の公募型支援メニューへ積極的に応募するべきではないか。

町長 事業を予算化する際には、自主財源のみで行うことが無いように国等の補助があるかないかの確認をしている。補助金の獲得策として国等の情報提供に頼るのみでなく、町が加入する各種協議会の総会に出席するなどして情報共有に努力を重ねている。



問 PPPやPFIなどの民間活力導入の状況についてお聞きする。

町長 本町内での官民連携による運営は松島運動公園温水プール、文化観光交流館等の公共施設において指定管理者制度を活用している。PFIの導入はないが常に頭の中に置いてある。

問 宮城県や仙台市が導入を検討している宿泊税に対する町のスタンスは。

町長 関係者の方々の理解を得られるように取り進めること。税の用途をしっかりと明記することを県へ要望している。

問 前回の調査から8年が経過した現在の状況と課題を把握するため、新たな空き家調査を実施するべきではないか。

町長 新たな調査が必要と感じているので、できるだけ早く議会の承認を

得られるように予算を考
えていきたい。



問 町内の小中学校で外国人児童生徒を円滑に受け入れる体制を構築することができれば、児童数確保につながるのではないか。

教育長 外国人の児童の受入体制を構築する場合、宮城県への日本語指導員の手続きや専用教室の確保、教員向けの研修などが必要となる。転入する児童の年齢・人数・言語レベル等が不明確な段階では、事前にこれらの受入体制を整備することは今のところ難しい。

問 松島の子供たちが英語や多言語に身近に触れる機会づくり、国際理解のある子供の育成を目的に海外への修学旅行や「二分の一人式」でのパスポート発行ができないか。

教育課長 海外への修学旅行の実施については現在のカリキュラムにおいて必要な時間を創出するのが非常に厳しい状況である。パスポートの発行に関しては平等性の確保という観点から難しい。



あぎらの 今野 章 議員

問 宿泊税について

答 宿泊税は大きな税収、期待できる

問 宿泊税は、令和2年2月の県議会に提案され、新型コロナウイルス感染症拡大もあり議案が取下げられたが今年になって宿泊税導入が再燃。3月25日には、県内の宿泊事業者10団体が連名で「宿泊税導入に反対する要望書」を県に提出している。

5月中旬、町内のホテル旅館生活衛生同業組合の方々の話しを聞くと、「コロナ後の債務返済など経営環境が改善していない」「インバウンドの盛り上りは関東以西で、観光客数は戻っているが宿泊は仙台に大きく偏っている」「宿泊事業者の負担だけが増える」「宿泊税の導入には強く反対する」との意見であった。

町長 宿泊事業者の負担だけでなく、理解を得られないままの導入は行うべきではない。県から町への説明はあったか。

町長 4月下旬、県の観光戦略課長より導入目的、観光振興施策の取り組みなど説明を受けている。

産業観光課長 内容は観光資源の魅力向上、旅行者の受入環境の充実、その他、観光振興を図る政策経費に充てるためである。

例えば、宿泊施設の改修支援など観光産業の体制の強化、夜の観光を牽引しむコンテンツなどの創出、二次・三次交通対策事業など受入環境の整備、誘客キャンペーンなど効果的な情報発信などの事業展開を考えている。

問 説明を受けて、町側としての意見等は。

産業観光課長 事業者にはよく説明し、納得の上で宿泊税の導入を話している。

問 本町にとって宿泊税導入のメリットあるいはデメリットは。

町長 宿泊税は大きな税収を生み、観光産業の体制強化、魅力ある観光コンテンツ創出、受入環境の整備、効果的な情報発信など期待できる。

また、宿泊事業者から慎重な意見があることも認識している。

問 宿泊事業者の経営環境は決して良くない。しかも物価高騰で一層厳しい経営環境に置かれる。宿泊税導入は時期尚早であり、事業者の理解が得られる進め方が求められる。賛成・反対も含めどう対応されるのか。

町長 賛成、反対ではなく、県の町村会・市長会の意向、その中の1首長というスタンスになる。また、今後進めていく上で宿泊業者の話も踏まえ、精査し県に伝えていきたい。



松島海岸の様子



あか ま ゆき お
赤間 幸夫 議員

問 防災機能を持つべき町道の備えは

答 町と行政区が情報共有して対応する

建設課長 日頃の町道管理は、直営により実施しており、地元から連絡がある箇所は、現地確認を行い出来る箇所から早急に対応できるように心がけている。

町長 町道に限らず国道や県道も含め、洪水浸水想定に基づく区域で把握している。
また、行政区への説明や相談対応は、過去に浸水被害のあった箇所を基に、庁内担当部署と行政区とが情報共有を図り、対応を行うようにしている。

問 浸水等の予測される町道路線の把握と該当する行政区への説明や相談対応は、どのように行われているのか。

町道の他に公衆用道路（農道など町道認定されていない路線）といった部分に対しても、町道と同様な形で管理を行っている。

問 町道の整備は、実態把握と共に年次・緊急対応や行政区要望等に基づき行われてきていると考えられるが、実情はどのようなものか。

副町長 行政区の優先箇所を踏まえ、町として集計を行い、最終的にまとまった案件を、予算配分的に町内全体を見ながら進めている。



町道初原・愛宕駅線
(初原字焼林付近)

建設課長 各行政区の要望箇所に緊急度の違いはあるが、舗装工事要望箇所33ヶ所、維持工事要望箇所98ヶ所が存在している。町は、行政区及び地域のバランス等を考慮したうえで予算組を行い、年次的に維持修繕工事等を実施している。

問 地域生活道路としての機能を有する町道、道路自体が災害軽減策とならざる道路の在り方について、町長の考えは。

町長 町道は、狭いところもあれば車が交差できないようなところもある。その地域に住んでいる方々の生活道路に関して、昔から使っているとはいえず車社会になってきて現状にそぐわないところが多分にあると思っている。車両通行に支障のある箇所は別としても歩行者が安全に歩けるような町道を考えていきたい。

車の安全通行規制、例えばスピードを時速30km以下にしてもらうとか、そういった様々なことも地域に住んでいる方々の理解と共に、協力を得ながらしっかりと対応していく。

令和5年度 政務活動費収支報告

政務活動費の支給について

議員1人あたりに月額7,000円が交付され、議員1人あたりの年間交付額は84,000円（月額7,000円×12ヶ月）となります。また、「会派」と会派に所属しない個人の「議員」にそれぞれ交付されます。

収支報告一覧（単位：円）

会派名・議員名	代表者名	所属議員名	交付額	支出	残額(返還額)
松政クラブ	高橋利典	高橋利典 櫻井靖 片山正弘	252,000円	155,716円	96,284円
			4月～3月7,000円×12ヶ月×3名	研修費 113,440円 資料購入費 41,076円 事務費 1,200円	
公明党	後藤良郎	後藤良郎	84,000円	41,775円	42,225円
			4月～3月7,000円×12ヶ月×1名	資料購入費 35,322円 事務費 6,453円	
日本共産党	今野章	今野章	84,000円	41,725円	42,275円
			4月～3月7,000円×12ヶ月×1名	資料購入費 32,012円 事務費 9,713円	
菅野隆二			84,000円	129,954円	0円
			4月～3月7,000円×12ヶ月×1名	調査研究費 40,676円 資料作成費 7,450円 広報費 66,746円 事務費 15,082円	
米川修司			84,000円	105,892円	0円
			4月～3月7,000円×12ヶ月×1名	調査研究費 51,320円 資料購入費 16,572円 広報費 38,000円	
桜井ていこ			84,000円	92,522円	0円
			4月～3月7,000円×12ヶ月×1名	資料購入費 9,972円 研修費 5,000円 広報費 77,550円	
中島一都			50,129円	0円	50,129円
			8月～3月 50,129円		
赤間幸夫			84,000円	65,427円	18,573円
			4月～3月7,000円×12ヶ月×1名	資料購入費 45,454円 事務費 19,973円	
高橋幸彦			84,000円	51,492円	32,508円
			4月～3月7,000円×12ヶ月×1名	研修費 41,520円 資料購入費 9,972円	
阿部幸夫			84,000円	21,832円	62,168円
			4月～3月7,000円×12ヶ月×1名	資料購入費 21,832円	
小澤陽子			84,000円	110,000円	0円
			4月～3月7,000円×12ヶ月×1名	調査研究費 110,000円	
色川晴夫			84,000円	38,232円	45,768円
			4月～3月7,000円×12ヶ月×1名	資料購入費 21,732円 広報費 16,500円	
杉原崇			26,645円	41,512円	0円
			4月～7月26,645円	研修費 41,512円	

※菅野隆二議員、米川修司議員、桜井ていこ議員、小澤陽子議員、杉原崇前議員の残額(返還額)については、交付額よりも支出額が多いため交付額により算出。

中島一都議員は8/27から議員就任のため日割りで計算。

杉原崇前議員は7/25付けで議員辞職したため日割りで計算。

合 計	1,168,774円	支出額	896,079円	389,930円
		交付額相当分	778,844円	

一部事務組合議会報告

塩釜地区消防事務組合議会

令和6年第1回定例会

令和6年3月26日(火)

議案の審査状況(8議案)

・令和5年度一般会計補正予算(第2号)

行政報告

- ①火災発生件数 46件
- ②救急出場件数

管内 10,643件
松島町 102件

・令和6年度一般会計予算
・介護認定審査事業特別会計予算
・障害支援区分審査事業特別会計予算
・環境事業特別会計予算
・監査委員条例の一部を改正する条例

③要介護認定審査判定

管内 7,079件
松島町 715件

④障害支援区分審査判定

管内 282件
松島町 34件

⑤し尿及び浄化槽汚泥搬入実績

管内 7,258t
松島町 3,302t

⑥塩釜地区りふ斎苑利用実績

管内 2,496件
松島町 236件

※令和5年4月～令和6年2月末

賛成全員・可決
米川 修司議員
片山 正弘議員

宮城東部衛生処理組合議会

令和6年第1回定例会

令和6年3月22日(金)

議案の審査状況(4議案)

・監査委員条例の一部を改正する条例

行政報告

- ①ごみの搬入状況

(前年比 1,858t減)
松島町 5,593t
(前年比 123t増)

②ダイオキシン類濃度に加え焼却灰や排ガス中の放射性物質濃度及び埋立地浸出水処理水、地下水、各施設敷地空間放射線量の測定結果は、いずれも目安や基準の範囲内にある。

賛成全員・可決
赤間 幸夫議員
高橋 幸彦議員

※令和5年4月～令和6年2月末

トピックス

宮城県議会大震災復興調査特別委員会行政視察



令和6年5月13日(月)、宮城県議会大震災復興調査特別委員会が行政視察のため来町されました。視察では「震災からの復興のあゆみについて」と題して、町長、危機管理監、企画調整課長などから東日本大震災からの復興状況について町の説明を受けた後、観光産業や水産業の現状と課題について質問や意見交換を行いました。会場は防災まちづくりの拠点として整備された石田沢防災センターで行いました。



行政視察の様子

塩釜地区消防事務組合議会からのお知らせ

塩釜地区消防事務組合は、塩竈市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町、利府町の二市三町で構成されており、消防業務をはじめ、環境・介護事務を実施しております。

令和6年度予算総額は、前年度比0.06%増で歳入・歳出共に約22億3,091万円。主な歳出項目としまして、職員人件費や消防車両更新等に係る消防費が全体の94.2%を占めております。

また、災害情報につきましては、令和6年5月末現在で火災26件、救急4,102件となっております。例年より増加傾向にあります。住民の皆様には、引き続き火災予防の徹底などをお願いいたします。

令和6年度 歳入歳出予算(介護・環境特別会計を除く)(単位：千円、%)

【歳入】	予算額	構成比	【歳出】	予算額	構成比
分担金及び負担金	1,987,825	89.1	議会費	3,245	0.1
使用料及び手数料	10,375	0.5	総務費	29,370	1.3
県支出金	4,207	0.2	消防費	2,101,206	94.2
財産収入	2	0.0	公債費	95,092	4.3
繰入金	167,920	7.5	予備費	2,000	0.1
繰越金	1	0.0			
諸収入	14,683	0.7			
組合債	45,900	2.0			
合計	2,230,913	100.0	合計	2,230,913	100.0

正副管理者構成

管理者	塩竈市長	佐藤光樹
副管理者	多賀城市長	深谷晃祐
	松島町長	櫻井公一
	七ヶ浜町長	寺澤 薫
	利府町長	熊谷 大

組合議員構成

構成市町	氏名 ()内は役職		
塩竈市	伊勢由典	土見大介	今野恭一 (議長)
多賀城市	阿部正幸	鈴木新津男	竹谷英昭 (副議長)
松島町	片山正弘	米川修司 (監査委員)	
七ヶ浜町	佐藤壮一	遠藤喜二	
利府町	伊藤 司	浅川紀明	

宮城東部衛生処理組合議会からのお知らせ

宮城東部衛生処理組合は、多賀城市、七ヶ浜町、利府町、松島町の二市三町で構成されており、家庭及び事業から排出される一般廃棄物を処理しています。令和6年度予算総額は、前年度当初比10.42%増で歳入・歳出共に11億2,300万円。増額の主な要因は、施設の老朽化に伴う補修及び更新工事費等が増加したことによるものです。

また、24時間稼働するごみ焼却施設の運転には、年間1億円を超える電気料金がかかっております。

ごみ処理に掛かる費用の財源は、構成市町からの負担金で賄われております。ごみの処理量を減らすことが、経費の削減に繋がりますので、住民の皆様には、これまで以上に3R(リユース・リデュース・リサイクル)の推進にご協力願います。

令和6年度 歳入歳出予算(単位：千円、%)

【歳入】	予算額	構成比	【歳出】	予算額	構成比
分担金及び負担金	1,057,417	94.16	議会費	2,481	0.22
使用料及び手数料	1,182	0.11	総務費	135,729	12.09
国庫支出金	158	0.01	衛生費	982,980	87.53
財産収入	36,527	3.25	災害復旧費	1	0.00
繰入金	27,474	2.45	公債費	99	0.01
繰越金	1	0.00	予備費	1,710	0.15
諸収入	241	0.02			
合計	1,123,000	100.00	合計	1,123,000	100.00

正副管理者構成

管理者	多賀城市長	深谷晃祐
副管理者	七ヶ浜町長	寺澤 薫
	利府町長	熊谷 大
	松島町長	櫻井公一
	多賀城市副市長	鈴木 学

組合議員構成

構成市町	氏名 ()内は役職	
多賀城市	昌浦泰巳 (議長)	佐藤雅博
七ヶ浜町	仁田秀和 (副議長)	熊谷明美
利府町	羽川喜富	阿部彦忠
松島町	赤間幸夫 (監査委員)	高橋幸彦

次回

第3回 定例会

9月4日(水)

開催予定

- ▶ 傍聴は役場庁舎1階の「町民の部屋」でも視聴できます
- ▶ 議場で傍聴される方は住所と氏名の記入をお願いします

議会情報はここからどうぞ

まつしま議会だより
バックナンバー

こちらから



松島町議会
ホームページ

こちらから



町民インタビュー

議会だより表紙に各地区の活動を紹介します。今回は磯崎分館の分館長にインタビューしました。



磯崎分館分館長

うちみ ゆたか
内海 裕 さん

毎年度恒例の分館活動はどのようなものがありますか。

7月は敬老会、8月は夏祭り盆踊り大会、11月はグラウンド・ゴルフとペタンク大会、2～3月は子ども会と合同かき養殖体験会&ミニかき祭りがあります。

これから新たに取り組みたい企画等があれば教えてください。

たとえば震災遺構の視察など、分館役員向けの研修会を実施したいです。

磯崎地域の今後の課題を教えてください。

元磯崎に住む区民と、新興住宅地に住む区民との交流をどのように創出していかだと思います。

議会に対してのご要望やご意見をお聞かせください。

議会だより発行や議会報告会に加えて、小集団による話し合いの場を設けて、議会と町民がより身近な存在であってほしいです。

編集後記

今年の梅雨は、雨が降るときはザッと降って、晴れるときは気温が30度近くまで上がり、もはや一般的な梅雨ではありません。いわゆる「短期集中型」の梅雨だけに、2年前のような大雨災害が起きないことを願いながらこの記事を書いています。

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられて1年以上が経過し、全国の新規感染者数は今日の時点で6週連続増加しており、今でも一部の病院では面会禁止が継続しています。町民の皆様には引き続き、新型コロナウイルス感染症に関して最低限必要な意識付けを継続しながら、屋内・屋外を問わず、昨年以上に様々な活動に勤しんでもらえればと思います。

(米川 修司)

広報広聴常任委員会広報分科会

- 会長 櫻井 靖
- 副会長 桜井ていこ
- 委員 菅野 隆二
- 委員 米川 修司
- 委員 中島 一都
- 委員 小澤 陽子
- 委員 高橋 利典